

グループホームせん 地域連携推進会議 議事録

1. 開催概要

- 事業所名：グループホームせん
- 開催日時：令和8年3月17日 10時00分～
- 開催方法：対面開催
- 開催場所：グループホームせん

2. 出席者

(外部構成員)

利用者代表	1名
利用者家族代表	1名
地域の関係者	1名(当日 体調不良により欠席) 後日 説明 意見聞き取り
福祉に知見のある人	1名
施設等所在地の市町村担当者	長久手市福祉課 1名 基幹相談支援センター 1名

(事業所)

管理者 サービス管理責任者	合計2名
------------------	------

3. 施設見学

グループホームせん見学

4. グループホームせんの運営状況説明

業所の状況

- 現在の利用者数 15名(男性 9名、女性 6名)

※定員 17名

- 利用者の区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	合計
男	名	7名	2名	0名	9名
女	2名	1名	1名	2名	6名

障害種別

療育手帳	3名
身体障害者手帳	1名
精神障害者福祉手帳	11名

年齢

	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
男	0名	2名	1名	3名	2名	0名
女	1名	1名	0名	2名	2名	0名

5. 意見交換、質疑応答

利用者代表より

- 体調不良でなかなか日中の活動ができていない時困っている
- せんに入居してよかった

利用者家族代表より発言

- 本人が65歳以上になった時どうしていけばよいか。
- 家族会を作ってもらいたい
- 職員と本人が相談できることで安定している。

市町村代表より発言

- 地域住民との交流をもつ機会をもってもらいたい
- 自治会の避難訓練等に参加してみてもいい
- 防災を軸とした地域交流の重要性
- グループホームが一番虐待件数が多いため、各職員（世話人含め）研修を行ってほしい

地域代表より発言

- 災害時の対応等を共有しておいてもらえると安心
- 自治会との連携ができる機会があるとよい
- 地域のイベントがあるのでそこに参加しては

課題として、

- 地域住民との交流
- 朝の送り出し
- 定期的な職員との面談
- 家族会の設立

が挙げられた。

6. 総括

本会議を通じ、

- 地域との関わりの重要性を確認した
- 利用者さんの率直な意見交換の重要性
- 継続開催の意義を共有した

今後も年1回以上の開催を継続する予定